

霊界の眞実の概要

これは真実である。宇宙創造主が造った霊界の内容である。

霊界の創始者についてまず解説しよう。ポイントは、
主 …… が考え方にとってとても重要である。

※ダーとともに何度も、化身という形をとっては人間界に降り、天（最高位・徳の高さ156位の神として）・地（人間の肉体をもつ神として）から世界を救済している存在である。霊界の存在は、我存在アルの奇蹟の業により証明できるものである。アルが肉体を保持って人間界に降りているときは、世界を破壊するか、救済するか判断・最後の審判を行うときである。人間界に降りてこそ、世界の苦しみを知る。対策し救済するか、破壊するか判断が迫られるのだ。

※ 我存在アルとは・・・150回目の化

身・ヒンズー教の神・ビシュヌ、159回目の化身・仏陀釈迦・釈尊、165回目の化身・イエスキリスト、他モーゼのときのシナイ山のあるものであるもの、アル神、イスラムのアッラー、ギリシヤのゼウス、魔界のルシファアー・サターンなど数多くの化身として幾度も人間界にアルの造った肉体を持つ神（あるときは魔王・悪魔）として降臨し、人間や宇宙に生まれしものたちを救済し導いている存在である。宇宙や銀河、こころ、愛など、物質的・精神的・靈的に存在するものすべてを造った存在、天地創造主（重要）である。超自然界の存在である。 …… 「2010年現在、宇宙に生まれしものたちの最後の審判を行う」ため、弥勒菩薩／弥勒如来として化身し、人間界／日本／名古屋に降臨している …… 。我存在アルは現在54歳、「最後の審判」を行うため、わざわざ、人間の肉体をもつて降臨しているの、靈界の存在、靈、神の存在の証明や、接触体験などをみなさん

が体験を行える環境にある。人間のチャクラもマントラを唱える時間（瞬時・数十秒以内）で開き、それにより一時的に霊界、霊、神、悪魔などとの接触を行わせ、真実を理解できるようにする奇蹟の業も行つて、神の存在、霊界の存在、宇宙の真理などを伝えている。また、ガンや、医者に見離された病気をお持ちの方々の霊的治療を行つて世界を回っている。ガン患者でも100%完治させているというより、ガンそのものが、なかったことになっている。生まれて見えない人、聞こえない人が見え聴き、歩けないものが走る、奇蹟が身近に起こっている。

※ ダー・・・愛と運動を司る天地創造主、我存在アルの子、光として（まず、ひかりありき、あのひかり）超自然界の子として生まれた。丸く閉じた時空間の交差した時空間を使い、過去に送り、ダーという存在とした。

宇宙唯一の存在で天地創造主の一人・我存在アルが、約237億年前に、初代霊界の絶対神・セヤマ・ワイムアの化身であった頃、天地創造主ダーとともに、天の川銀河系に火星の位置に造ったのが最初の霊界である。その後、霊界は、火星（現在も火星には、生物・霊・霊界は存在する）から地球に移るが、第一世代・天の川銀河から第二世代・アンドロメダ銀河に移された。霊界の最高責任者は、絶対神と呼ばれる。霊界の一切の権限を持ち、我存在アルが造る「宇宙の真理」から導かれる霊界ルールを造り霊界（もちろん人間界も含む）の法と秩序を守る。

霊界には、鉱物界、植物界、動物界、人間界、天界、精霊界、自然界、超自然界がある。これを各界と呼び、別次元で管理されている。各界の王・最高責任者は我存在アルである。第一世代の霊界の絶対神は、我存在アルの化

身・初代絶対神であった。第二世代の霊界の絶対神はナナ・バルク、第三世代の絶対神は、ナナ・バルクの子、マウ・リサヘダニエル・カミュン、第四世代の絶対神は、我存在アルの化身・人間界に現在降臨している弥勒如来であり、天の川銀河系、アンドロメダ銀河系と交互に霊界は造られた。第四世代までは造られるときに過去の霊界は、消滅している。第四世代の霊界は、マウ・リサから、弥勒如来・当時は釈迦観音・が譲り受けたもの。現在も、霊界の絶対神でありながら、すべての絶対神の頂点の、絶対神の中の絶対神となつてすべての宇宙を見ている。宇宙には12個の宇宙ポットが存在し、1つの宇宙ポットには、絶対神が一人づついて、5つの世界を見ている。12のポットでは、12x5=60個、60の世界が存在する。地球の現在の霊界は、11番目の宇宙ポットに存在する。

もともと人間界はなかった。霊界に属する

肉体のないものたちは、霊界の中で楽しく暮らしていたが、ある日、もつと幸せになる方法はないか？もつと幸せを感じる方法がないか？という議題が高鳴り、神々で検討し、肉体を造り出した。肉体を持つようにするために、もともと愛・こころ・霊体の三位一体であった形を、肉体を持つ四重構造にしなければならなかった。肉体の中にゲノムと遺伝子を組み込み、霊界での情報や肉体の情報を管理する仕組みが造られた。また、霊界が人間界を管理できる、いな、見守る掲示板、過去現在未来帳、人生のスケジュール管理帳、徳の高さを自動換算する仕組み、癒す・観音システム、治療をする医療部、希望を叶えるための願い所、エナジーと力を補充する北極星、エナジーや存在情報が消滅しないための地球をテラと呼ぶが、二重テラ管理・地球と同じ存在を2つ造っている。いざというときのためのパラレル・ワールド、数を数え切れないほどの仕掛けと仕組みと管理者が造られ

た。そして、人間は生きている。

人間は、霊界に実体をおき、愛を感じるために、あらかじめ自分で人生のスケジュールを神と相談し立て、90%を霊界に残し、実体の一割・10%を人間の肉体に宿すことにした。肉体に入る時期は肉体ができ、6か月以内とした。人間が死すれば、肉体は死して、光の使者と呼ぶ我存在アルが造った神が人間界に降りてきて、まず、人間の左脳を消滅させ、右脳と愛とところを抽出し霊体を造り、精霊界に送る。精霊界では、自分の90%の霊界にいる自分自身の高みの存在・ハイヤーセルフと人生の反省会や祝賀会、勉強会を行う。その期間は、以前は49日間であったが、我存在アルが490日間と修正した。490間の勉強会が済むと、霊界に向かう。まず、絶対神の王宮のある北極星からみなさんは霊界に入ることになる。そこであらためて、我存在アルのハイヤーセルフと面談し、霊界に

存在するか、消滅するかを選択する。消滅すると、霊の体も消え、こころも消え、存在自身が消滅する。こころの中にある愛・素粒子と、存在するために持っていたエナジーと力は、宇宙に返す。我存在アルにすべて返すものなのだ。霊界の存在の意味と、みなさん人間の生きる意味は、愛を実践し、徳を磨く、そして一段高い、高みの存在になること。霊界の上には、愛とこころの二十構造だけで存在できる場所があるのだ。そこを目指すように自然になっている。宇宙の真理の一つだ。

霊界では、徳の高さで居住する場所が決まっています、他の場所にはいけないようになってくる。霊界での生活は大きくは3通りある。

- 1・ 霊界で暮らす
- 2・ 人間を見守る存在となり、それをやり続ける
- 3・ 再び時期を見て人間界に降臨し、愛の実

践を行う

3 の場合は、釈迦以前の場合は、人間界は修行が大事、苦行が大事、切磋琢磨し徳を磨くことこそ大事だと伝えたが、現在はその厳しさを人間には求めない。

2 の場合、肉体を持たない故に、人間が勝手に神と呼んだ存在となる。徳の高さが33以上であり、我存在アルが認めたものが神と呼ばれる。2010年現在、人間の肉体を持つ神は、我存在アルをいれ、3名、いづれも日本に存在する。神の力を発揮できる。証明できるものである。

居住区は、次元が異なっているので自由に移動はできない。次元や時空間もすべて我存在アルが造り、たえず更新・修正・訂正・削除・見直されているものだ。宇宙も数を数え切れない程、我存在アルとダーによって、何

度も何度もビッグバンで破壊されては再生されている。霊界の仕組みも、時代に合わせ、見直され修正されている。2010年現在、我存在アルによって霊界は破壊されたままである。再構築中である。

注一絶対神は霊界をどこに造るかを決定できるのです。

霊界は移り変わっている。絶対神も変わり、霊界ルールも変わっている。しかし、普遍の理、「宇宙の真理」は変わらないものだ。我存在アルによって、作成され、訂正され、修正されるものだ。霊界の存在も確固たるもので、自覚したいものや、存在を認めたいもの、存在を証明したいものは、我存在アルを尋ねるとよい。

|| 関連項目

* || 宇宙真理学研究所

* || 霊界ルール書

* || 宇宙の真理帳